

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております)

2952号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 石田直裕：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>

春間近 (北海道音更町のシマフクロウ)



も く じ

随
想

地方創生に思う……

高知県中土佐町長

池田

洋光 (11)

情
報

町村ご当地キャラじまん……

(9)

フ
ォ
ー
ラ
ム

幸村を観光の新たな柱に！町民とともに日本一元気な町を目指して！和歌山県九度山町……

(5)

政
策

地方創生の拠点となる「道の駅」を選定！平成27年度は38箇所が選ばれる！……

(2)

コラム

電 報

読売新聞東京本社論説委員
コラム『編集手帳』執筆者

竹内 政明
たけうち まさあき

一年浪人して遠方の大学に入った。はるか昔の話である。インターネットはまだない。合格発表を見に出かけるのでは金がかかる。電報を頼んだ。当時は遠隔地から訪れた受験生のために、在校生がアルバイトで電報を受け付けていた。住所と受験番号を伝えて幾らか支払うと、合否を教えてください。二年つづけて同じ大学を受けたので電報も二本もらった。文面はいまも記憶している。

一年目(ボブスレー並木雪深し、再起を祈る)。
二年目(ヘクラークほほ笑む)。

二本目の電報を見て、いささが大仰に言えば悟得したことがあった。一年目より電文が短い。字数は半分以下である。そうか、幸せな人には事実だけを伝えればいい。不幸な人には、それでは足りない。「再起を祈る」のひと言を添える。言葉とはそのように使うものなのか、と。一本目と二本目は同一人物が書いたわけではないので、文面を比較しても本当は意味がない。独り合点の悟得ではあるのだが、そこは多感な年頃である。世の中を生きていく秘密の作

法を教わったかのように胸が波立ったのを覚えている。

のちに新聞のコラムを書くようになって、時どき思う。どうやら二本の電報は知らず知らずのうちに、わが血肉になっただけ。というのにはコラムの題材を選ぶとき、とくに自覚もせず勝者ではなく敗者を、日なたに居る人ではなく日陰に居る人を選んでいたのである。

例えばバンクーバー冬季五輪の男子フィギュアスケートでは、日本人男子として初のメダルに輝いた高橋大輔選手ではなく、演技中に靴のひもが切れた失意の織田信成選手を取り上げた。大相撲の場合は同じ日に引退を表明した力士のうち、人気抜群の高見盛爾ではなく、けがにたたられつつも努力家ながら地味な印象の武州山関を取り上げた。ただのヘソ曲がりといわれれば抗弁するつもりもないが、無意識のうちに「再起を祈る」のひと言を添えていたのかもしれない。

巣立ちの春である。多感な若い人が一生ものの言葉に出会えたらいい。

写真募集

表紙に掲載する写真を募集しています。採用者には、図書カード(3千円)を差し上げます。写真には撮影者の住所、氏名及び撮影場所・日時を明記して下さい。なお、採否は当方に一任願います。送り先：全国町村会・広報部

政策情報

地方創生の拠点となる「道の駅」を選定 国土交通省

～平成27年度は38箇所が選ばれる～

国土交通省は、このたび平成27年度「重点・道の駅」を選定し、公表した。地方創生に資する地産地消の促進や小さな拠点の形成等を旨とした道の駅の新たな設置、リニューアルに関する企画提案を募集し、有識者による懇談会の意見を踏まえ選定したもの。全国で38箇所が「重点・道の駅」とされ、このうち町村からは17箇所が選ばれている。

地方創生の核となる8つの取組内容

道の駅は、平成5年の制度創設以来、現在、全国で約1,080箇所にはひらがり、地元の名物や観光資源を活かして、多くの人々が利用、地域の雇用創出や経済の活性化、住民サービスの向上にも貢献している。国土交通省では、この道の駅を経済の好循環を地方に行き渡らせる成長戦略の強力なツールと位置づけ、平成26年度から関係機関と連携し、地方創生の核となる優れた取組を「重点・道の駅」として選定、積極的に応援する施策を実施している。

今回選定された「重点・道の駅」は、

- ① 産業振興…地域の特産品を活かした産業振興の拠点となる道の駅
- ② 地域福祉…地域の高齢化等に対応した住民サービス（地域福祉）を提供する道の駅
- ③ 交通結節点…公共交通の結節点として地域住民に交通サービスを提供する道の駅
- ④ 防災…災害時に高度な防災機能を発

揮う道の駅

- ⑤ 観光総合窓口…地域の観光総合窓口となる道の駅
 - ⑥ インバウンド観光…インバウンド観光を促進する道の駅
 - ⑦ 地方移住等促進…地方移住・ふるさと納税推進に貢献する道の駅
 - ⑧ 交流・連携…地域間の交流・連携を促進する道の駅
- なお、これらの取組がより効果を発



▷みかんパーク七里御浜（三重県御浜町）

◁ぎのぎ（沖縄県宜野座村）



揮うためには、道の駅相互のネットワーク化を図ることが重要であると考えられている。

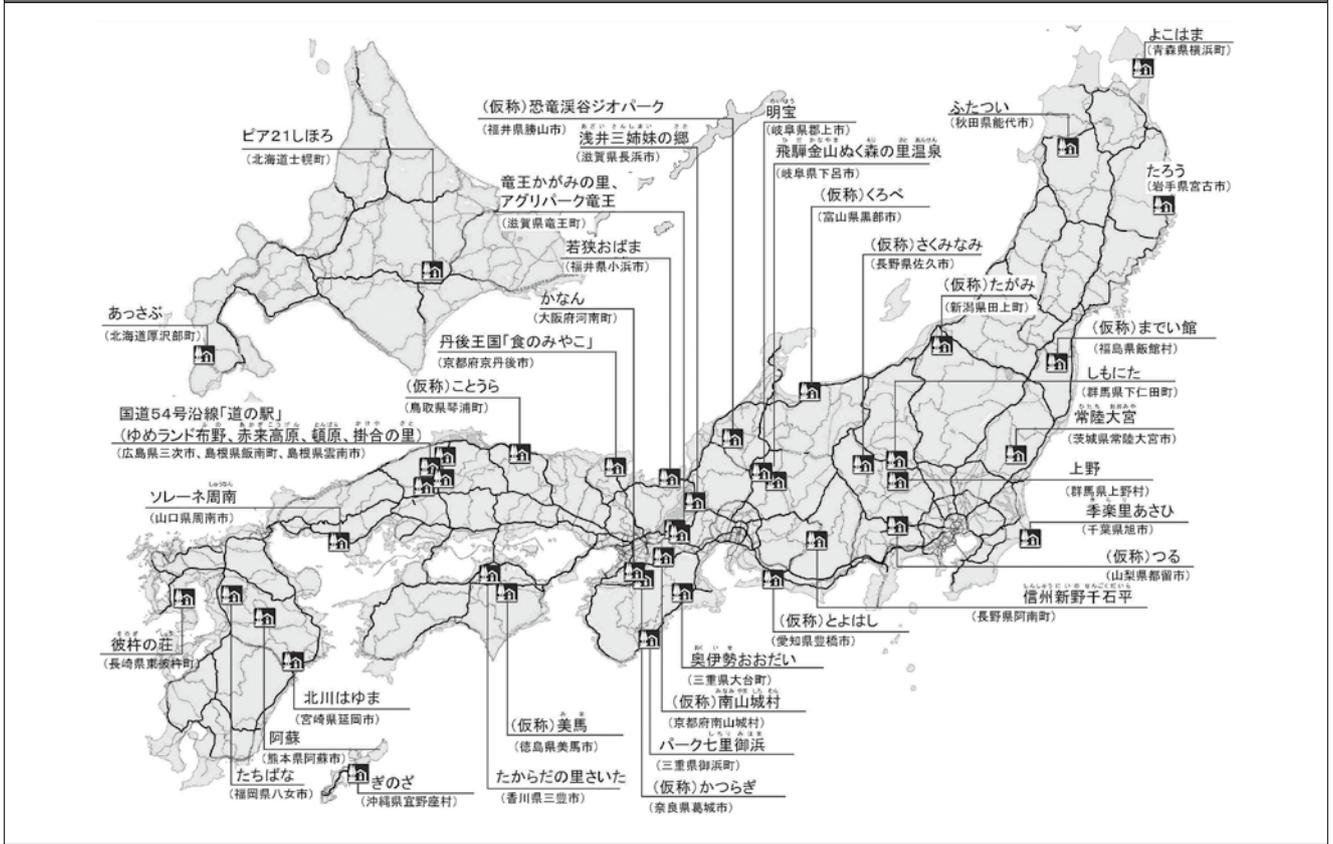
町村からは17箇所が選定

平成27年度の「重点・道の駅」には、町村から17箇所が選定された。このうちいくつかの概要を見てみる。

まず地域の特産品を活かした産業振興の拠点となる道の駅では、三重県御浜町など5町村の道の駅が選ばれた。三重県御浜町の「みかんパーク七里御浜」は、「年中みかんのとれるまち」という町の特徴を活かし、みかんジュースなどの柑橘加工商品の開発と6次産業化の推進により、農業所得の向上と雇用を創出したことに加え、地元の農林水産物直売施設を拡げ、地産地消を促進す

政 策

「重点・道の駅」選定 38箇所



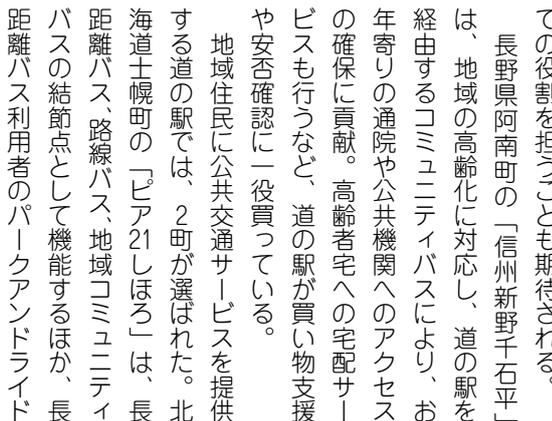
信州新野千石平 (長野県阿南町)



取組が評価された。同じく産業振興で選ばれた沖縄県宜野座村の「ぎのざ」は、無農薬の「ぎのざエゴ野菜」や人材資源を活用し、食育・地産地消活動の促進と農家所得の向上を図っている。また、道の駅に隣接したリバーパークやダム湖にツーリズムで訪れる観光客と村民が交流できる地域コミュニティの場としても注目されている。

地域福祉の観点から、住民サービスを提供する道の駅では青森県横浜町など6町村の道の駅を選定。平成29年度に設置予定の福島県飯館村の「まてい館」(仮称)は、原発災害からの帰村時の日常生活を支えるため、「人」「もの」「情報」が集まる復興拠点として整備される。また、村では、食品より

ピア21しほろ (北海道士幌町)



長野県阿南町の「信州新野千石平」は、地域の高齢化に対応し、道の駅を経由するコミュニティバスにより、お年寄りの通院や公共機関へのアクセスの確保に貢献。高齢者宅への宅配サービスも行うなど、道の駅が買い物支援や安否確認に一役買っている。

地域住民に公共交通サービスを提供する道の駅では、2町が選ばれた。北海道士幌町の「ピア21しほろ」は、長距離バス、路線バス、地域コミュニティバスの結節点として機能するほか、長距離バス利用者のパークアンドライド拠点としても活用されている。また、

ピア21しほろ (北海道士幌町)

平成27年度 「重点・道の駅」 (町村分)

主な取組内容	都道府県	市町村	駅名	主な特長
産業振興	三重県	御浜町	パーク七里御浜	柑橘加工商品の開発と6次産業化の推進。
	京都府	南山城村	(仮称) 南山城村	「村で暮らし続けるための仕掛け作り」として、特産品である南山城茶を活用した商品開発。
	大阪府	河南町	かなん	なにわの伝統野菜を使った商品を開発・提供するための施設整備。
	鳥取県	琴浦町	(仮称) ことうら	隣接する既存の道の駅と機能分担及び連携し、地元特産品を活用した6次産業化など地産地消の推進。
	沖縄県	宜野座村	ぎのぞ	宜野座工コ農産物や人材資源等を活用し「食育・地産地消活動」の促進。
地域福祉	青森県	横浜町	よこはま	周辺施設を活用した地方創生拠点を形成する、自動車専用道路IC直結の道の駅。
	福島県	飯舘村	(仮称) まいでい館	原発災害からの帰村時の日常生活を支える、役場や医療機関等と連携した復興拠点。
	群馬県	下仁田町	しもにた	買い物困難者への宅配サービス提供、子育てサポート、公共交通バスの結節点化などによる「小さな拠点」の形成。
	新潟県	田上町	(仮称) たがみ	道の駅周辺に公共サービスと生活サービス機能を集約。道の駅と集落地域等を結ぶ公共交通・宅配サービスの導入。
	長野県	阿南町	信州新野千石平	高齢者への宅配サービスを通じた買物支援や安否確認、町民バスと連携した中山間地の生活支援。
	長崎県	東彼杵町	彼杵の荘	障害者支援施設が行う移動販売車による買物支援と農産物の集荷・販売システムの確立。
交通結節点	北海道	士幌町	ピア21しほろ	長距離バス、路線バス、地域コミュニティバスの結節点として機能。
	三重県	大台町	奥伊勢おおだい	JR、高速バス、路線バスの結節点における行政、文化、観光、医療サービス拠点の形成。
地方移住等促進	北海道	厚沢部町	あっさぶ	日本版CCRCとの連携により高齢者移住や、新規就農による移住・定住促進に向けた情報発信や総合案内。
	群馬県	上野村	上野	移住窓口を設置するなど道の駅を中心に移住・雇用対策を展開。
交流・連携	滋賀県	竜王町	竜王かがみの里・アグリパーク竜王	土産土法の取組を2駅(集客力のある駅と農業生産力のある駅)連携で推進。
	広島県 島根県	三好市 飯南町、雲南市	国道54号沿線「道の駅」	自動車道の開通により、交通量が減少した国道54号沿線の4つの道の駅の相互連携による、地域の暮らしを持続的に支える環境構築。

地方への移住定住に貢献している道の駅として選ばれたのは2町村。このうち群馬県上野村の「上野」は、移住・雇用に関する情報発信や相談窓口「ふらっとサロン」を設置。道の駅が核となり、イターン者の増加と移住定住の促進を目指す。

地域間の交流・連携を促進する道の駅では、2町(うち1町は2市の道の駅と連携)が選ばれており、滋賀県竜王町の「竜王かがみの里・アグリパーク竜王」は、野菜ソムリエを活用した特産品の開発や、アグリパーク竜王の体験農園で収穫した農産物の試験販売といった産業振興の拠点となっているほか、新規就農者への農地、住宅の紹



◁上野(群馬県上野村)



◁竜王かがみの里(滋賀県竜王町)

介といった事業も行っている。

主な支援内容

これら選定された「重点・道の駅」に対する支援内容であるが、自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度を活用することについて、ワンストップで相談できる体制を作ることのほか、道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設などについては、直轄道路事業と社会資本総合交付金等を活用して国土交通省が支援する。

また、同省では、「重点・道の駅」の取組を広く周知することにより、集客や効果的な活用に結びつけたいとしており、これらの支援により、「重点・道の駅」が地域活性化の拠点として、機能強化が図られることが期待される。

フォーラム

現地レポート

町村独自のまちづくり

幸村を観光の新たな柱に

〜町民とともに日本一元気な町を目指して〜

和歌山県

く ど やま ちやう
九度山町



△戦国随一の人気を誇る真田幸村公の赤備え甲冑（複製）

九度山町の概要

九度山町は和歌山県の北東部（伊都地域）に位置し、県庁所在地和歌山市に車で約1時間、大阪都市部へは電車で約1時間とアクセスもよく、南は真言宗の開祖弘法大師が開いた高野山を有する高野町と接する人口約4千6百人、面積44・15km²の非常に小さな町です。

町内に在る弘法大師ゆかりの慈尊院（じそんいん）や丹生官省符（にうかんしょうふ）神社、高野山町石道（こうやさんちやういしみち）は世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に含まれています。また、日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）と呼ばれた真田幸村公が、大坂の陣に出立するまでの14年間、人生で一番長い歳月を過ごした地でもあります。その縁により長野

和歌山県



フォーラム

県上田市とは昭和52年5月より(当時
は長野県真田町) 姉妹都市として交流
を重ねています。秋には日本一の品質
を誇る特産品「富有柿」が京阪神を中
心に好評をいただいております。しか
しながら、平成の合併も不調に終わり
単独での町行政を進める必要があった
本町においても、例外なく少子高齢化
の波が急速に訪れました。農業も後継
者不足となり、特産品「富有柿」につ
いても存亡が危ぶまれる状況となつて
います。

新たな観光を産業に

そのような状況のなか、平成18年よ
り農業に次ぐ新たな産業の柱として
「観光」を位置づけ、まちづくりを進
めてきました。世界遺産に含まれる各
史跡は信仰の対象として多くの観光客
が訪れていましたが、一方で、中心市
街地は真田幸村公の屋敷跡である真田
庵(寺院) 以外の見どころが無く閑散
としていました。そこで戦国武将随一
の人気を誇る「真田幸村」を新たな観
光の柱と位置づけ、埋もれた観光資源
を掘り起こし、磨き上げることで新た
な観光周遊ルートの整備に取りかかり
ました。

まず世界的に有名な日本画家平山郁
夫先生(故人) ゆかりの館を平成19年
5月に「松山常次郎記念館」として、
また、日本の障害者福祉の母と呼ばれ

る大石順教尼ゆかりの屋敷を平成22年
1月「大石順教尼の記念館」としてそ
れぞれ開館。真田庵に加え2施設を整
備することができました。

このような町の取組に連動し、町民
有志の方々が自らまちづくりに立ち上
がってくれました。まちなか休憩所は
町内のおばちゃんグループ「真田いこ
い茶屋」が平成21年6月から運営し、
営利目的でない心温まるおもてなしで
観光客を迎え入れています。また、九
度山町住民クラブも同年より春に約
一ヶ月間「町家の人形めぐり」を開催。
商店街の家を中心に約60軒の家々が人
形を飾り、九度山を訪れる方々を楽し



▷ 古民家を利用した「まちなか休憩所」
観光客だけでなく町民の憩いの場と
なっている。

◁ 「そば処幸村庵」 本格的な信州そばが
味わえます。



ませています。また、両団体ともそれ
ぞれ県内で表彰を受けるなど取組が認
められ、より一層励みとなって活き活
きと活動されています。

真田幸村を取り持つ縁で

同時に観光地には「食」が必要と考
えました。そこで、真田幸村公が本町
に閑居となった際に伝えたと言われる信
州そばを現代に復活させ「紀州九度山
真田そば」を開発。真田庵の隣に町の
第三セクターで運営するそば処「幸村
庵」を平成22年11月にオープンしまし
た。現在本町にはそば文化はなく、ゼ
ロからのスタートでしたが姉妹都市長
野県上田市母袋市長の全面的なバック

アップのもと、職人を上田市に派遣し、
一から研修を受けそば作りを学びまし
た。町職員も連日試食に参加し、試行
錯誤を重ね約一年半かけて「幸村庵」
開業にこぎ着けました。本場の信州そ
ばを味わえると大変好評をいただい
ております。

また、町職員の発案で本町の特産品
「富有柿」をテーマとした「大収穫祭
ーN九度山」を平成19年11月より開催。
職員総出でイベント準備・運営に携
わっています。真田氏を偲んで開催し
ている春の「真田まつり」が唯一の大
きなイベントだった本町にとって、秋
の大イベントが出来上がりました。現



▷ 「大収穫祭ーN九度山」特産品
「富有柿」の特売も実施

フォーラム

在では2日間で約2万人の来場者が訪れる大イベントとなり、皆さん本町の秋の味覚を楽しんでくれています。

イベント開催に対して、柿収穫の最盛期と重なるため当初は消極的であった農家の皆さんも、消費者の方々と直接対話し自慢の柿を喜んで購入してくれる姿を見て次第に生産意欲を増すなどの相乗効果も生まれました。

前述した住民による自発的な「まちおこし」を含め、これらの取り組みは、真田幸村公が取り持つ縁で姉妹都市長野県上田市と様々な交流が生み出してくれたもので、本当に実りある有意義な姉妹都市交流をさせていただいていると自負しております。



▷真田昌幸・幸村父子を偲んで「真田まつり」を開催。武者行列は勇壮。

住民と観光客のための「道の駅」オープン

このような官民一体となった様々な取組により観光客は着実に増加して参りました。一方で、観光情報の発信基地及びトイレの付随した大型駐車場等町の不足している機能も浮き上がってきました。

そこで次に、町の基幹施設として道の駅の建設計画（当初は地域振興交流施設）を実行に移しました。建設予定場所は町の中心街と世界遺産の史跡が集積する地域のちょうど真ん中に位置し、町内で唯一といって良いほどまとまった平坦地。それゆえに単なる観光客向けではなく、町民にとっても利用できる有意義な施設を目指しました。具体的には、本町のみならず世界遺産で結ばれた近隣町の観光情報を発信する高野地域世界遺産情報センター、町民の買い物対策として日常の買い物が出る直売所施設、地域食材を活用したベーカリーカフェ、子どもの遊び場としての大型遊具、そしてイベント会場兼ドクターヘリの離発着場を兼ね備えた防災広場。それらの機能を有する道の駅「柿の郷くどやま」を構想から約6年の歳月を要し平成26年4月オープンさせました。

直売所は町による直営も検討しましたが、柿以外の農産物が乏しい本町では、町民の買い物の場とするためには

◁さまざまな機能を有する本町の拠点施設「道の駅 柿の郷くどやま」



年間の品揃えが難しいと判断し、県内の産直施設を手がける企業にテナント貸しとしました。企業側には町民のため日用品の陳列をお願いし、快諾をいただいたのが非常に嬉しかったです。その結果、年中和歌山県内産の農産物やお土産品がふんだんに陳列され、観光客のみならず町民の買い物の場として連日賑わいをみせています。このような様々な取組の成果として平成18年約14万8千人であった観光客は平成26年には約63万6千人まで増加する結果となっています。この間、長野県上田市をはじめ大坂の陣の舞台である大阪城など真田ゆかりの関係各所にご協力を仰ぎながら、町単独でも首都圏・名

古屋・京阪神を中心に地道な観光・特産品PR活動も続けて参りました。今から思えばそれら全てが形となって現れてきたように思います。

大河ドラマ「真田丸」決定

道の駅のオープンよりほどなく、平成28年のNHK大河ドラマ主人公が本町ゆかりの真田幸村公に決定しました。この背景には約5年間の年月をかけて全国の真田氏ゆかりの自治体が連携し署名活動を行うなど誘致活動を行ってきた努力の賜であります。うれしさと同時に、80万人を超える署名に協力して下さった真田ファンの皆様へ感謝の気持ちで一杯になりました。し



▷日本一の品質を誇る特産品「富有柿」

フォーラム

かしながら喜びも束の間です、大河ドラマ放送までの準備期間は2年もありません。早急な対応に迫られました。真田幸村公が人生で一番長く生活した地ではありますが、屋敷跡と呼ばれる真田庵(寺院)はあるものの、閑居の地である本町に、現存する資料等は残っていないのです。

九度山・真田ミュージアムの建設へ

そのような本町だからこそ、逆転の発想として九度山での暮らしぶりに思いを巡らせ、自由なイメージの下に映



▷九度山真田ミュージアム (内部イメージ図)

◁九度山真田ミュージアム (完成イメージ図)



像やパネル展示を行い、単に見学する資料館に止まることのない、体感していただける施設として「九度山・真田ミュージアム」を建設することにした。大河ドラマ放送でいらっしやる多くの観光客に「九度山の真田」を楽しんでいただくよう準備を進めています(平成28年3月13日オープン)。

同時に大河ドラマ展を開催し、ドラマで使用した衣装や小道具類を展示し、大河ドラマの魅力を存分に紹介し

りの地 九度山」の情報発信拠点として恒久的に開館して参ります。また、近隣自治体はもとより民間事業者にも幅広く協力していただき、大河イヤーを本町のみならず伊都地域の交流人口増加や経済効果、知名度向上に繋げて参りたいと考えています。

今後の課題と展望について

端的に言えば大河ドラマが生み出す効果をいかに持続させるかが課題となります。幸い戦国武将随一の人気を誇る真田幸村公ですので、ドラマ終了後もその人気は持続するものと考えていますが、これを機会に幸村ファンの来訪者の皆様にも九度山ファンになってもらい、リピーターを増やすと共に、移住・定住の地として九度山町を選ん

九度山町 企画公室

新刊紹介

ローカル志向の時代 働き方、産業、経済を考えるヒント

松永桂子・著 光文社新書

740円+税

「ここ数年、地域を取り巻く環境や価値観は変化を遂げている」という書き出しで始まる本書は、その変化の内容を、都市・農村という場所のフラット化、人々の働き方、新たな自営や地場産業のあり方といった切り口で描き出している。駅前商店街の驚くような復活劇の背景、山村のサテライトオフィスで常識にとらわれないワークスタイルを満喫する若者、専門性を持つ中小企業がヨコ連携でつながることの強みなど、「ローカル志向の時代」を象徴する興味深い話題が登場する。このほか、地場産業の現場では、モノだけでなく地域全体を巻き込んだ新たなデザインの取り入れに気付き始めた人が生まれていること。「食」の振興や「環境」への取組でたしかに成果を上げている町村についても紹介。これからの地域経営で問われるのは、ストーリー性の付与や「規模」から「価値」へのシフトなど「センス」だと指摘する。深掘りした実例が多く、紙幅の制約が惜しい。また、経済学者ならではの俯瞰した時代背景の解説は、読み手にとって取り上げられた実例の、現在の位置付けや価値を理解する補助線となる。いま地域が面白いのはなぜか、地域の変化を読み、意識を変え、そして行動するためのヒントが得られるであろう。

町村

ご当地キャラじまん

Vol.10

特産品だけじゃない!

文化・歴史を身にまとして観光大使!!

ご当地自慢の美味しいものや伝統行事を身にまとい、体を張ってPRしているご当地キャラたちを紹介するコーナーです。今回は、中ブロック(北信・東海・近畿)からピックアップ。

中ブロック

京都府和束町

愛知県南知多町
三重県南伊勢町

2001年、町制40周年記念事業でデザインと名称を公募して誕生した町のキャラクター。「みなみちた」の「みな」から「ミーナ」とし、キャラクターの持つ元気で明るくはつらつとしたイメージから、町の人々が「みな(皆)」そっぴりであって欲しいという願いが込められています。町HPには公式ページがあり、「南知多町産業文化まつり」など、「ミーナ」のイベント登場スケジュールを公表。他にもおともだちについて等、様々な情報を提供しています。また、町では、厳しい基準をクリアした町特産品を南知多ブランド「ミーナの恵み」として認定しており、該当商品に貼られるステッカーのデザインにも、「ミーナ」を採用しています。Twitterでは「ミーナ」が毎日つぶやいて情報発信。町内のイベントや観光情報など、町の魅力を広くアピールするため、明るく元気に日々活動中です。

南知多町キャラクター

ミーナ

愛知県南知多町



2001年6月1日生まれ。太陽の光あふれる明るく元気な南知多町をイメージして生まれた妖精。ひまわりのようなかわいい笑顔で、沢山のの人に南知多町の魅力を伝えている。

南伊勢町マスコットキャラクター

たいみー

三重県南伊勢町

2010年、町制5周年を記念して誕生したマスコットキャラクターです。顔は町の木「みかん」、からだは町の魚「鯛」をモチーフにしています。町の花「桜」をかたどったポシエットを愛用。おなかのハートマークは、町の観光名所であり、2015年に「恋人の聖地」に認定された通称「ハートの入り江」(鶴倉園地・かさざぎ池)をイメージしていて、全身で町の魅力を表現。話し言葉には、語尾に「〜み〜」とつけて話します。SNSを活用して町の魅力を発信したり、町の広報紙では職場訪問のコーナーを担当したりと、町内のおちろこちろに出かけて行って、PR活動に大はりきりです。スナップなどのたいみーグッズで、地域経済活性化にも貢献。2016年は「伊勢志摩サミット」が予定されているので、ますます多忙な日々を送っています。



永遠の5歳。鯛の鯛太郎とみかんのミータンがハートの入り江で出逢い、結婚して生まれた。誕生日は10月1日。明るく、好奇心旺盛で、子どもが大好き。趣味は日本全国を旅すること。

和束町マスコットキャラクター

茶茶ちゃん

京都府和束町



誕生日は「ひみつ」の女の子。のんびりやさんで、運動は苦手。特技はお茶をおいしく淹れること。恥ずかしがり屋なので、しゃべらないが、好きな言葉は「和束LOVE」。

1997年、町最大の特産品である和束茶の普及のために開発された缶ドリンク「わづか茶」のイメージキャラクターとして誕生した「茶茶ちゃん」。愛くるしい茶娘として、ぼてぼてと歩く姿がかわいいと評判です。キャラクターブランドとして定着していますが、ちよつぴり恥ずかしがり屋の「茶茶ちゃん」本人にはなかなか会えないと言われています。それでも、時々小中学校の朝のあいさつ運動に自主的に参加したり、町の一大イベント「茶源郷まつり」にはいつも顔を出してくれます。また、和束茶を使ったスイーツの広報などにも協力。「茶茶ちゃん」の好きな場所は、町自慢の広大な茶畑。昔懐かし茶娘のいでたちで、大好きな和束茶と町のPRのために、のんびりゆったりと一生懸命頑張っています。

次回は、西ブロック(中国・四国・九州・沖縄)からご紹介します

地域づくりの実例を無料動画で！「NHK地域づくりアーカイブス」

<http://nhk.jp/chiiki> (キーワード入力「NHK 地域づくり」で検索できます)



みなさんがお住まいの地域の課題について、他の地域ではどんな取り組みが行われているのか。情報収集のツールとして、さらには地域づくりの研修や勉強会での視聴、学校など教育現場での教材としても、ぜひご活用ください。

様々な課題を抱える日本の「地域」。過疎・高齢化、農林水産業の衰退、シャッター通りと化する商店街、ごみ屋敷、ひきこもり…。東京や大阪といった大都市も、防災や介護、孤独死といった問題に直面しており、「地域の再生」は、まさに全国的な課題です。一方で、全国各地をつぶさに見てみると、特産品の開発や商店街の再生、高齢者の見守りなど、知恵を働かせ、力を合わせて課題に向き合い、地域づくりを成しとげてきた事例も数多くあります。

NHKは、昨年10月、新たにインターネットの動画サイト「NHK地域づくりアーカイブス」を開設しました。「NHKスペシャル」「プロフェッショナル」「明日へ支えあおう」復興サポート「ハートネットTV」などの番組で、これまで取り上げてきた全国の地域づくりの映像を、無料で視聴いただけるサイトです。ジャンルや地域、キーワードなどで検索し、パソコンやスマートフォンでご覧いただくことができます。

地域づくりのヒントが満載！

これまでNHKでは、農林水産の特産品開発、商店街再生、介護での雇用創出、空き家の活用など、全国各地で様々な成果を上げていく地域づくりの取り組みを数多く取材し、番組化してきました。その一方で、放送後、視聴者のみなさまから「番組を見逃してしまった」「再放送の予定はないのか」「番組をDVDで入手したい」といったご意見を数多くいただきました。

こうした映像を、放送後、倉庫に眠らせておくのではなく、ぜひ、みなさまの地域づくりに活かしていただくことができないうかが、そんな思いから立ち上げたのが、インターネット動画サイト「NHK地域づくりアーカイブス」です。NHKの番組で取り上げてきた全国の先進的な地域づくりの映像を、5〜10分ほどのダイジェストで、無料で視聴いただくことができます。

動画は、「農林水産・食」「環境・エネルギー」「共生経済・観光」「コミュニティ・商店街」「教育・子ども・若者」「医療・介護」「福祉・生活支援」「災害復興・防災」の8ジャンルに分類されており、興味のあるテーマから検索していただくことができます。また、「地産地消」「地域包括ケア」といったようなキーワードや、市町村や地域の名前から検索することもできます。

たとえば、町村合併にともない住民サービスが低下した過疎地域で、どのような取り組みが行われているのかを知りたい場合、「合併」で検索すると、「住民自治で暮らしを守る」(広島県安芸高

田市川根)という動画がヒットします。合併によって役場や出張所が閉鎖されたのをきっかけに、行政に頼らず住民自治によって商店や高齢者のデイサービス、弁当宅配などを運営している事例です。さらに、過疎解消のヒントを探すため「Iターン」で検索します。すると「移住希望者が殺到する島」(島根県海士町)という動画がヒットし、特産品開発をする若者を都会から呼び寄せ、子育て支援策を充実させることで移住者を増やした事例を知ることができます。

このように、全国の地域づくり先進地の動画をご覧いただくことで、みなさまの地域の課題解決や、まちの未来のあり方を考えるヒントを見つけ出していたら、と願っています。新年度に向け、掲載動画の本数もどんどん増やし、識者のインタビューや各地で活躍中の方々のブログ等、ホームページの充実も図っていく予定です。

地域づくりに携わる行政の方々、住民のみなさん、NPOや地域おこし協力隊のみなさん、教育現場に携わる教師の方々など、地域づくりに関心のある様々な立場のみなさんに、幅広くご活用いただけるサイトとなるよう、スタッフ一同、これからも力を尽くしていきます。ぜひ、アクセスしてみてください。サイト内には、投稿フォームもありますので、みなさまからのご意見・ご要望、地域についての情報などもお待ちしております。



随 想

全長196km、日本最後の清流と
呼ばれる四万十川。その上流域に川
を挟むように開けた村が嘗ての大野
見村(現・中土佐町大野見地区)だ。
昭和29年、私は、四万十川と山々に
抱かれた小さな里に生を受けた。当
時の大川(四万十川の通称)は、水
量豊かでウナギも鮎もおもしろいほ
ど捕れた。山では野いちごやイタド
リ、山芋、アケビ。里ではビワ、イ
チジクそして柿。四季折々のごちそ
うを頼張った。今のように物流が発
達していなかったので、海の幸は塩
をした干物が中心で刺身類は不塩
(ふえん)とって神祭(じんさい・
春や秋の祭り)や冠婚葬祭などの時
ぐらいしか食べられなかったが、鶏
や鯨はタンパク源としてたびたび食
卓に登場した。山々に囲まれていた
せい、その向こう側にあるである

う未知の世界に思いをはせ、ガキ大
将よろしく自分を連れ山越えて隣町
まで遠征し、日暮れになっても我が
子が帰らぬと搜索が入ったことも一
度や二度ではなかった。不便な生活
だったかもしれないが、濃密なコ
ミュニティと自由な時間、尽きるこ
とのない遊び場を提供してくれたふ
るさとの山や川。今振り返れば実に
驚沢な幼少期を過ごしてきたと思
う。この頃養われた好奇心が長じて
も消えず、バックパッカーとして北
米を旅したり、オーストラリアに渡
り永住を企てたりと若かりし日のま
ぶしい記憶は、還暦を過ぎた今の私
の活力源であることに間違いは無
い。

さて、地方創生である。我が国日
本は海洋に囲まれ、狭いと言われる
が北海道から沖縄まで実に3、

000kmあまりの距離があり、気候
風土文化ともまさに千差万別。文
明の都市部集中と対極にある地方の
文化。「故郷は遠きにありて思うも
の」とも言われるが、過度の一極集
中が日本人の心をも過疎にしてし
まっては元も子もあるまい。先日、
某講演会で著名な講師がこう呟い
た。「ある地方都市に行ったとき、
首長さんがうちの町は東京と同じレ
ベルの整備をしております快適ですと
言った。それは違うんじゃない
の?」。先生のおっしゃるように個
性があるから魅力がある。その土地
でしか味わえないものがあるから
行ってみたいと思う。東京にはない
地方の良さ、優位性を打ち出さなけ
れば地方の存続はおぼつかない。

「一隅を照らす、これ即ち国宝なり」
最澄の教えのとおり、誰にでもそ
の人の役割があるのであって、地方
には地方の役割が確かにあるはず
だ。我々地方人は国土を保全し、食
料や人材、エネルギーを都市部に供
給してきた。特に首都圏は東京オリ
ンピック景気もあり極めて活発な経
済活動が展開されている反面、過密
と過疎が混在し今後の高齢者問題が
重くのしかかってきている。本当の

豊かさとは何か。ものの方考え方
で世界観は変わる。これからは、都
市と地方が役割分担をより明確に行
い、集中と分散によるダイナミズム
を発揮させることによって、国際社
会における日本のプレゼンスが保た
れるのではないかと考える。これを
実現するために、どの地域に居住し
ようとも物理的閉塞感を覚えること
のなきよう、まずは基本的社会基盤
である道路網の整備をしっかりと行
うことが肝要だ。時間短縮と安全性、
快適性の確保は、地方のみならず都
市部からのビジネスや観光にも大き
く寄与することができ、国土の均衡
ある発展に繋がる。地方を守り国は
栄える。まさに道は国家なりである。

四万十川に育てられた彼の少年
は、その後カツオ漁が盛んな土佐の
一本釣りのまち中土佐町久礼に移住
し、本場のカツオの旨さに仰天した。
彼は調理師の資格を生かし、カツオ
伝道師として本物のカツオのうまさ
を伝えるべく活動している。人生と
は実に面白い。まだまだ未知なる楽
しみが地方にはあふれている。これ
からが勝負の時である。

随 想

地方創生に思う

高知県中土佐町長 池田 洋光



TIME of RELAXING

「ゆとり」と「やすらぎ」のひとつとき

静かさと心地よさに配慮し、室内インテリア全体を落ち着いた雰囲気にとまどめ、ゆったりとしたやすらぎのひとつときをお届けいたします。

<http://www.zck.or.jp/kaikan/index.html>

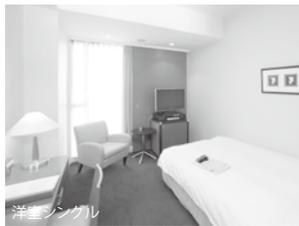


土・日・祝日は リーズナブルに

土・日・祝日のご宿泊は、
平日料金の **20%OFF**

金曜日のご宿泊は、
平日料金の **15%OFF**

和室もございますのでお問い合わせ下さい。
禁煙ルームをご用意しております。



シングル 119室 **SINGLE ROOM**
平日料金10,100円より

金曜日料金
15% OFF 8,600円より

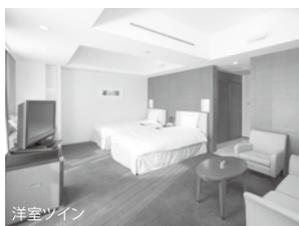
土・日・祝日料金
20% OFF 8,100円より



ダブル 12室 **DOUBLE ROOM**
平日料金 13,700円
(2名利用) ※1名利用の場合 11,400円

金曜日料金
15% OFF 11,600円
※1名利用の場合 9,600円

土・日・祝日料金
20% OFF 10,900円
※1名利用の場合 9,000円



ツイン 17室 **TWIN ROOM**
平日料金 19,000円より
(2名利用)

金曜日料金
15% OFF 16,200円より

土・日・祝日料金
20% OFF 15,200円より



会議室・宴会場

2階には広さと設備が多様な、大小4つのホール、会議室。高い機能性を持ち、さまざまな演出が可能です。会議・研修、パーティーなどに幅広くご利用いただけます。



カジュアルレストラン「ペルラン」

ランチタイム 11:00 ~ 14:00
ティータイム 14:00 ~ 17:00
ディナータイム 17:00 ~ 22:00
(21:30ラストオーダー)



和食処「さいかち」

ランチタイム 11:30 ~ 14:30
(14:00ラストオーダー)
ディナータイム 17:00 ~ 22:00
(21:30ラストオーダー)

*** さいから



全国町村会館

市町村職員共済組合等の宿泊助成券がご利用いただけます。

お電話でのご予約・お問い合わせは

TEL 03(3581)0471

FAX 03(3581)0220

〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号

WEBからのご宿泊予約は、特別料金(部屋数限定)がございます。

ホームページは

全国町村会館へのアクセスガイド

- 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」3番出口徒歩1分
- 丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩8分
- タクシー東京駅から約20分

